

市民自主企画講座『中国の魅力にふれる』第2回目



中央公民館主催 市民自主企画講座「中国の魅力にふれる」の第2回目が 11月23日(日)一般参加者を含め20名で行われました。

内容は『現代中国のスポーツ事情』

講師は 共同通信社 中国ニュース室
デスク 高田 智之氏

企画 運営 「グループ中国だい好き」

1)スポーツ大国中国のエリート達はど
う養成されたか

2)市民とスポーツの関係

3)中華百年の夢 実現はどんな意味を持
ったか の三つのテーマで講演を戴く

詳細は 私達のブログを御覧下さい。
<http://zuixihuan.exblog.jp/>

小学2年、3年くらいから親の体格を参考
にしながら国家レベルで搜してスカウトす
る。

阿片戦争以来の屈辱を拭い去る訣別の
チャンスととらえ、「弱国心理」の克服を目
標としていた事は事実と思う。

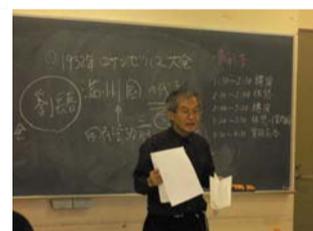
日本 韓国を含めてオリンピックを機会に
大きく変わって行くことは確かと感ずる。



全国運動大会が4年に1度開催さ
れ、「競技力向上」「人民のスポ
ーツ振興」が柱になっているが各省、
直轄市、人民解放軍などから選抜
され対抗戦形式で実施。



近年 ビジネス化の傾向あり、プロ
化も進みもはや国威発場の道具
だけではなくなりつつあるし、スポ
ーツ市場を狙う外国企業の姿もあ
る。聖火を点火した元選手は体育
用品会社を設立して世界規模で商
売を。



オリンピック初参加は1932年の
ロス大会からで、1956年IOC脱退
1984年のロス大会から復帰の歴
史



警備の警察。
オリンピックを媒体として外から相
変わらずの国家体制を見ること、
知る事になりました。



オリンピック入賞者の報奨金
(1元15円として日本円でいくらか
な)。
《金》国家から35万元 所属省か
ら違いはあるが最高で80万元 住
んでる市からも出る。
《銀》国家から20万元。
《銅》国家から10万元。
銀も銅も省 市からも支給。